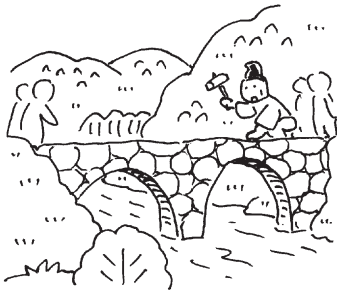


石橋を たたいて渡る

言葉の意味

石づくりの橋は、木の橋に比べて頑丈で、壊れにくいものです。そんな石橋なのに、たたいて安全を確かめてから渡るほどの「用心深さ」や「慎重なこと」を言います。



用心深いことを良いこととして褒めて使う場合と臆病だったり融通が利かないことを良くないこととして使う場合があります。

こんなふうに使おうよ

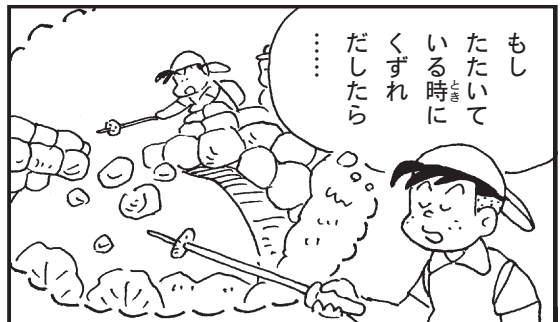
大事な作業だ

石橋をたたいて渡るくらいの気持ちで進めよう

そんな石橋をたたいて渡るようなやり方じゃ時間がかかってしょうがないなあ



習二君の石橋をたたいて渡る





しゅうじ君の ことわざ。

二束三文 (ふたつかさんもん)

言葉の意味

値段が非常に安くて、売っても儲けがでないことを表します。三文というのには「三文判」「安いハンコ」「三文芝居」(ヘタな芝居)などの言葉がある通り、安物や粗末な品の意味です。



昔、金剛草履と呼ばれた履き物が二束で三文(現在の約100円)で売られたことが語源という説もあり、「二束三文」と書くこともあります。

こんなふうに使うよ



これくらいかな

思い出の つまった本だが二束三文にしかないならなんだ



売ったところで二束三文にもならないんだから手元に置いて活用法を考えよう

習二君の 二束三文



今日は良い紙を使おうか

高級な書道用紙も

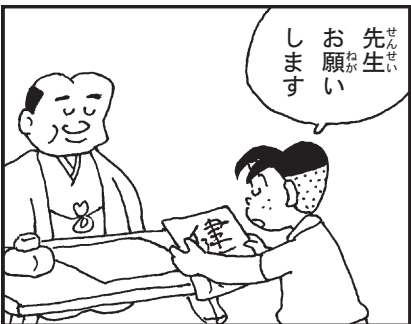
一旦お兄ちゃんが書いてしまおう



他の人は使えなくなって二束三文になっちゃうね

そんなことはないぞ

先生お願いします



ここはこう

墨山先生の朱が入ると大いに勉強になるぞ

墨と朱で二色千文の価値が出るのか

